

## 講演概要

### Borders and the Rules Based International System: a historical and legal basis

RUSI Whitehall, London SW1A 2ET

2019年2月25日(月)



今日の激動する国際環境では従来のルールと制度は様々な脅威にさらされています。国境は非国家テロ集団と領土の要求をつきつける勢力による挑戦を受けており、国家の根幹を揺るがす緊張が生まれています。しかし、歴史を振り返ってみると同様の危機が発生した事例を見出すことは可能です。

本シンポジウムは、英国王立防衛安全保障研究所との共催で開催され、様々な専門家が法的枠組内で領土問題が解決された事例を考察し、どのような教訓が得られるかを議論しました。

#### 第1パネル：領土問題と西洋とアジアにおける領土概念

第1パネルでは、領土問題に関する歴史的主張の役割と妥当性に焦点をあて、国際裁判所が過去に歴史的権利等を背景とする様々な要素をどのように評価したかについて考察しました。また、非西洋諸国が19世紀に西洋と接触した後、近代ヨーロッパ国際法が規定する領土と国境の概念を受容した一連の過程について議論しました。加えて、アジアや他の地域で一部の諸国が過去の歴史に関する記憶、特に前近代的な記憶を基に、領有権を主張する動きにも触れました。

#### 第2パネル：国際法に基づく領土問題の平和的解決

第2パネルでは、アジアと欧州の領土問題の平和的な解決における国際法の意義を考察し、どのよう

に法の支配を強化することができるかについて議論しました。関連して、歴史的権利に基づく主張がなされた仲裁裁判の例（フィリピンと中国の仲裁裁判、及びクロアチアとスロベニアの仲裁裁判）について議論しました。

### 第3パネル：領土問題が地域・国際秩序に及ぼす影響

第3パネルでは、国際社会が直面する自由主義的秩序に対する挑戦に関し、国際法を尊重しつつどのように対応すべきか、国際政治の観点から議論しました。同パネルでは、第1、第2パネルで議論された地域秩序・国際秩序への影響を踏まえて、パワーと国際法の関係について考察しました。また、法の支配がどのように安定した国際秩序の維持に貢献しているかについても議論しました。